

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回弘前城跡整備指導委員会
開 催 年 月 日	平成27年 8月26日 (水)
開 始 ・ 終 了 時 刻	13時30分 から 15時30分まで
開 催 場 所	弘前市立弘前図書館2階視聴覚室および弘前城二の丸発掘現場
議 長 等 の 氏 名	長谷川成一 (弘前大学名誉教授)
出 席 者	関根達人、田中哲雄、福井敏隆
欠 席 者	清藤哲夫、千田嘉博、麓和善
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	<p>(弘前市都市環境部公園緑地課) 公園緑地課長兼弘前城整備活用推進室長・古川勝、同課参事・小林勝、同課長補佐・小嶋修造、弘前城整備活用推進室兼スマートシティ推進室総括主幹・神雅昭、弘前城整備活用推進室総括主査・鶴巻秀樹、同室主査・岡本康嗣、同室主査・横山幸男、同室主査・笹森康司、同室主事・今野沙貴子 (記録)</p> <p>(弘前市教育委員会文化財課) 文化財課長・三上敏彦、同課長補佐・工藤雅人、同課文化財保護係長・小石川透、同課埋蔵文化財係長・岩井浩介、同係主事・工藤麻衣、同係主事・東海林心、同係主事・福原健</p>
会 議 の 議 題	①ガイダンス施設 (二の丸利活用施設) について
会 議 結 果	<p>① 弘前城二の丸整備の基準となる文化2年(1805)「御城郭分間真図」原本の所在確認を継続すること。</p> <p>② 二の丸馬場跡と高照神社馬場跡を比較検討し、整備に活かすこと。</p> <p>③ 遺構表示について具体的に検討しておくこと。</p> <p>④ 二の丸整備のスケジュール (予定)</p> <p>平成28年度 実施設計 (ガイダンス施設と史跡整備)</p> <p>平成29年度 ガイダンス施設建設</p> <p>平成30年度 ガイダンス施設オープン</p> <p>平成30～31年度 史跡整備工事</p>
会 議 資 料 の 名 称	<p>① 弘前城二の丸整備経緯について</p> <p>② お殿様お姫様衣装着付け体験実施状況</p>
会 議 内 容	<p>① 二の丸整備について (事務局)</p> <p>・平成21年度『史跡津軽氏城跡弘前城跡整備計画』における「二の丸南部地区」の整備方針と、利活用施設の整備について説明。</p>
(発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過)	

<p>結 論 等)</p>	<p>(委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備の基準とする文化2年(1805)「御城郭分間真図」は、原本の所在が不明となっている。搜索を継続すること。 ・弘前図書館所蔵の史料に、御宝蔵の位置を示した「二之御丸之図」(整理番号 TK230-23)を確認した。その絵図は、御宝蔵を「土蔵」と記しており、西向きの玄関が描かれている。 ・二の丸の馬場は全長約200m(93間)、高照神社の馬場は全長156mである。両者の規模にそれほど大きな違いはないが、高照神社の馬場は神馬を引くためのものであり、二の丸の馬場とは性格が異なるものと思われる。二の丸馬場跡と高照神社馬場跡を比較検討し、整備に活かすこと。 ・遺構表示について、具体的に検討しておくこと。 <p>②「お殿様お姫様衣装着付け体験」実施状況</p> <p>(事務局) 現在、弘前城跡整備の利活用施設と位置付けている北の郭武徳殿を、今後は体験施設へとシフトさせていく。その第一段階として、7月より「お殿様お姫様衣装着付け体験」を実施しており、国内外の来園者から好評を得ている。</p> <p>(委員会) 「衣装着付け体験」は武徳殿での催しであり、二の丸ガイダンス施設では実施しないということによいか。</p> <p>(事務局) その通りである。</p> <p>③弘前城二の丸発掘調査について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馬場跡に入れたトレンチでは、小土塁・硬化面・溝跡・柱穴列を確認した。小土塁の幅は、約4mである。 ・馬場に伴う「御高覧所」跡に入れたトレンチでは、柱穴列を確認した。柱穴が140～150cm間隔で並ぶものと、180～190cm間隔で並ぶものの2通りが認められる。 ・御宝蔵跡に入れたトレンチでは、礎石列や石敷、雨落溝のような痕跡を確認した。礎石の中にはコンクリートブロックが含まれており、近世の御宝蔵の平面形を踏襲した近代以降の建物跡ではないか。 <p>(委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御宝蔵跡のトレンチで確認されている遺構を近世と関連付けるには根拠が弱いので、引き続き調査を継続するように。
<p>その他必要事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開、非公開…非公開